

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

メロンひとつ夕風となる卓の上

鈴木たか子

ひとところ風の集まる稲穂波

小林 啓治

強震の風の中なる揚羽蝶

小林 フク

歳月をたぐり寄せたる蚊遣香

三代みちよ

茂る木は鳥の遊び場観音寺

渡辺 いし

梅干して雲の流れの風をよむ

入山ひろ子

【茂山俳句会】

水打って老舗静かに生きのころ

植田 祥雲

白百合の息詰めてゐる献花台

萩原 信一

白南風やリュックの底にハーモニカ

鈴木ノブ子

かけのぼりてはなだれては凌霄花

大関 くに

水草生ふ中に流れのなき如く

田崎 信子

妻留守で三日続きの冷奴

宮本 芳江

夏痩せの腕の老斑数知れず

鶴見 菊江

祭髪きりりと担ぎだす気配

松崎 いま

睡蓮の王冠並ぶ沼青し

泉 健作

汗のシャツ替へて話題を変へにけり

関根 幸子

嘎れの「らっせ、らっせ」と長の声

海老沢静夫

炎昼や芥火けぶる匂ひして

吉原 秀子

夏あざみ山の踏切鳴り出して

井坂 洋子

久々に嬰の泣き声蝉時雨

向後 礼子

端居する夫の草笛しみじみと

竹林 てる

温暖化地球の喘ぐ大暑かな

飯山 昭

【一般投稿】

雷鳴にボール急かさるみかげ丘

古山 孝



短歌

【真壁短歌会】

さなきだに老いの淋しさかこつ身に国は

駄目押す「後期」高齡と

岡村 次雄

雨音にまじりて聞こゆる寺の鐘暁の街中

静かに響む

渡辺ハルエ

目的をきりりと持つや涼し気に和服の女

はわが前を過ぐ

根本 英子

こさかげに色増してきたる紫陽花に木漏れ

日さして浮き立ち見ゆる

塚本とよ子

【一般投稿】

「よっこいしょ」座って起って春惜しむ

老を上げます路傍の草花

大山 しげ

俚謡

【さくら俚謡会】

若い気持の二十才でいても

何時の間にやら敬老会

つく志輝美

秋だ青空筑波の山に

響く笏に偲ぶ男

岩瀬きみ子

赤い夕日に身を染めながら

俺も浮き世の赤とんぼ

稲葉 建正

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ